

SEDDIO-VAN利用

拡大に向けたツールを発表

日本文紙データ交換機構（略称「SEDDIO」）では、企業受発注業務のDX化に貢献する「SEDDIO-VAN」の利用企業の拡大に向けた広報ツールを新たに作成しました。

平成5年にスタートしたSEDDIOは、今年で31年目を迎える文具業界の受発注業務のインフラとして認知されているだけでなく、文具業界以外のメーカーにも利用が広がっていることで、卸業者や小売業者にとつて、文具業界以外の日雑メーカー、教育関連メーカーなどとの取引もできるシステムになっています。また、メーカーの視点では、文具業界の多くの卸業者が会員になっていることから、その取引を一本化できるなど業務プロセスを大きく改善することができます。

新しい広報ツールでは、「SEDDIO-VAN」で取り扱うデータ

SEDDIO-VANでDX

受発注業務の70%合理化も可能!

SEDDIO-VANは、企業受発注業務のDX化を実現するためのプラットフォームです。従来の紙ベースの業務をデジタル化し、業務効率を大幅に向上させ、コスト削減を実現します。



- 業務効率の向上
- コスト削減
- 取引履歴の可視化
- 在庫管理の最適化
- 顧客対応の向上

▼4月22日に記者説明会を開催
4月22日午後2時より共和フォーラム1階会議室にて開催されました。その席上で宮本専務理事より「今年で31年目を迎えたSEDDIOは、現在はJ-SOLさんのサーバーで運用しています。運用開始以来、順調にトランザクションが伸びていき、コロナ前までは毎月600万件というトランザクションがありました。データ交換の種類（発注データ、蔵出データ、納期回答データ、請求照合・支払照合データ）と、業務フローの改善について紹介しているほか、導入しやすいインターネット受発注システム（IJS21）などを紹介しています。さらに、スペシャル対談としてメーカーと卸の垣根を超えた業界スタンダードモデル構築に向けた取り組みを対談形式で紹介しているほか、実際に「SEDDIO-VAN」を導入している企業の導入事例として、文具メーカーだけでなく、文具業界外メーカーでの導入効果なども紹介されています。

※入会の案内やインターネット受発注システムの詳細などはホームページ（<https://www.bungunavi.or.jp/>）を「確認ください」。

でデータ量も減少してしまいました。現在では毎月400万件のトランザクションで推移しています。業界のデータ交換インフラとして、機構内にタスクチームの設置、会員を増やすためのパンフレットを新しく作り直しました。」と挨拶がありました。その後、パンフレットの内容説明に続いて行われた質疑応答の中で「文具業界のDXが遅れていると感じるのは、手書きによる受発注業務が未だ残っていることで、その対応に人員を割かないといけないようになって点です。現在では、メーカーと卸業者間のデータ交換が主力になっているので、卸会員の取引先に対して、自社の業務効率化だけでなく、取引先の業務合理化・コスト削減のためにもSEDDIOに参加していただいで、文具業界のDXを進めていきたいと思います。」と



いう説明もありました。

IT導入補助金2024

7月19日まで申込受付中

経済産業省・中小企業庁・中小機構の推進する「IT導入補助金2024」(<https://it-shien.smu.go.jp/>)は、本年2月16日より7月19日まで申請を受け付けています。同補助金は、令和5年度補正予算「サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金」は、独立行政法人中小企業基盤整備機構より採択され、同機構及び中小企業庁監督のもとTOPPAN(株)が事務局業務を運用しています。

補助金の「通常枠」では、中小企業・小規模事業者等が自社の課題やニーズに合ったITツールを導入する経費の一部を補助すること、各社の業務効率化・売上アップをサポートするものです。対象として、「顧客対応・販売支

援」「決済・債権債務・資金回収管理」「供給・在庫・物流」「会計・財務・経営」「総務・人事・給与・労務・教育訓練・法務・情報システム」「その他業務特有のプロセス」「汎用・自動化・分析ツール」から、1種類以上の業務プロセスを保有するソフトウェアを申請します。補助率は1/2以内、1プロセス以上は5/150万円、4プロセス以上は150/450万円となっています。

